

第34回地方公務員共済組合連合会資金運用委員会議事要旨

1. 日 時：令和2年3月5日（木） 15:10～16:30
2. 場 所：地方公務員共済組合連合会 特別会議室
3. 出席委員：
 - ・若杉座長 ・川北委員 ・喜多委員 ・高山委員 ・竹原委員
 - ・蜂須賀委員
4. 議 事
 - (1) 令和元年度第3四半期の各積立金の運用状況
 - (2) 令和元年度第3四半期の各積立金のリスク管理状況
 - (3) 基本ポートフォリオの許容乖離幅について
 - (4) 基本方針の変更について
 - (5) 令和元年度スチュワードシップ活動の報告
 - (6) オルタナティブ資産への投資状況について
 - (7) 令和2年度の運用方針

〈議事の概要〉

- ・事務局から上記議題について資料の説明が行われた。
- ・その後、意見交換が行われた。

(5) 令和元年度スチュワードシップ活動の報告

- スチュワードシップ活動の報告（要旨）の、運用受託機関におけるスチュワードシップ活動の実効性に向上が見られたという記載については、企業側からも同じような話を聞いており、非常に実感している。このような状況になったのは、我々の様な主要なアセットオーナーが運用受託機関をしっかりとモニタリングしてきたからだと思うので、今後も継続してほしい。
- スチュワードシップ活動の対象資産を株式以外の債券やオルタナティブなどの資産まで拡大するという事になった場合には、モニタリングをするのが大変だと思う。海外では先行して議論がなされてきたため、事例はかなり積み上がっていると思われる。関係のある海外の主要な年金基金や大手アセットマネジャーから知見や情報などを得るとより進めやすいのではないか。

(6) オルタナティブ資産への投資状況について

- オルタナティブ資産において、モニタリングの大変さ等を踏まえ、プライベート・エクイティ以外の分野にもSMAを導入していくべきだと考える。

- 市場動向が不透明な中でも、オルタナティブ資産に関しては着実に残高を積み増していくことが重要だと考える。

以上